

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大久保中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の定着について課題がみられる。 <指導上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能について、反復練習や家庭学習する時間等、振り返りをする時間を十分に確保できていない。	⇒ ・「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を活用し、基礎的・基本的な内容の反復・習熟に取り組む【定期テスト前1週間の朝に実施】 ・各教科の勉強会の開催し、基礎的・基本的な定着を図る。 【定期テスト前1週間の放課後・夏季休業中】 ・PCを毎日持ち帰ることで、家庭学習においても「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等を取り組めるようにする。 【毎日】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを表現について課題がみられる。 <指導上の課題> 生徒が自ら考え、発表する場面の設定が十分にされていない。	⇒ ・単元構成を見直し、各教科の授業において、生徒が発表する場面や少人数活動を増やし協働的な学びをより多く設定する。また、積極的にICT機器を活用することで、生徒自身が主体的に発表を行えるように環境を整える。 【単元のまとめの時間等】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)
夏季休業中

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)